

地理分野と歴史分野の基礎知識を完成させ、入試に対応する実践的な思考力を身につけます。

5年生の社会では地理分野の学習後、歴史分野の学習が始まります。歴史分野は、中学入試に必要な範囲を5年生のうちに一通り学習します。歴史分野は先取り学習となり、子どもにとっては、耳慣れない言葉も多く出てきますが、重要ポイントが簡潔にまとめた要点と、因果関係や背景をわかりやすい言葉遣いで説明した映像授業で、無理なく歴史の流れを理解することができます。

学習例：◎歴史分野の完成と、論理的思考力の養成

●図や写真を多用し、歴史への興味と理解を深める

図や写真を使って、歴史への興味を引き出し、視覚的な理解を促します。歴史の学習では、初めて見聞きする言葉や概念が多く出てきますが、簡潔にまとめた説明と、ガイド役のキャラクターの会話によって、単元の重要なポイントを無理なく学習することができます。

要点

小学社会 第3回 要点・練習問題 AJV50922B301

2 古墳の分布

先生の授業を見る

古墳のうち、最も古いものは大和地方から瀬戸内海、九州北部にかけての範囲に分布しています。そのうち、とくに規模の大きな古墳は、大和地方および大阪府南部にあります。このことから、これらの地方には大きな政権があったと考えられます。

おもな古墳の位置

- 前方後円墳だけでも、日本には約4600あるんだって。
- 江田船山古墳（熊本県）「ワカタケル大王」と推測できる文字がぎざまれた鉄刀が出土した。
- 大仙古墳（大阪府）墓の面積としては世界最大。
- 稲荷山古墳（埼玉）「ワカタケル大王」と読み取れる文字がぎざまれた鉄刺が出土した。
- 箸墓古墳（奈良）日本最古の前方後円墳の一つ。卑弥呼の墓という説がある。
- 高松塚古墳（奈良）あざやかな壁画が発見された。
- 石舞台古墳（奈良）蘇我馬子の墓という説がある。

※著作権の都合により、Web上ではこの写真の掲載をしていません。

江田船山古墳の石造りのびつぎ

古墳の中でもとくに大きな前方後円墳は、3世紀に造られ始め、4～5世紀には各地に広がりました。このことから、大和地方にあった政権が各地に勢力をのびし、その土地の豪族が、同じような大きな墓を造ることを許されたのだと考えられます。

- 地図中の○は、地方の豪族が大きな勢力を持っていた地域を示しているよ。
- それは、古墳が集中していた地域だね。古墳の分布を調べることで、当時の社会の様子がわかるんだね。
- 地方の古墳で出土した副葬品の種類も、大和地方のものに似ているよ。
- つまり、古墳を造った各地方の豪族が、大和地方の王を中心に連合していたことがわかるね。
- 古墳の大きさと分布、出土品などを調べることで、いろいろなことがわかるのね。

要点の目次にもどる

もどる すすむ

●要点の漢字練習（筆順アニメ）

中学入試では社会科の用語を漢字で書くことを求められることが多くあります。とくに歴史分野の用語は学校では習わない漢字も多くふくまれますが、筆順アニメによって正しく書けるようになります。

小学社会 第3回 要点・練習問題

漢字練習 2

※ペンツールを使うときは、画順の①をタップしましょう。ペンツールを使った後に次のページに進むときは、②をタップして、ペンツールを閉じてから進みましょう。

筆順

書こうに

お手本を 表示する 表示しない

※書いて覚えたら、「すすむ」をタップしよう。

もどる すすむ

ドリル

小学社会 第3回 ドリル AJV50921G304

問題 4

日本最大で、墓の面積としては世界最大の古墳を、次のア～エの中から1つ選びなさい。

ア 箸墓古墳 イ 高松塚古墳 ウ 石舞台古墳 エ 大仙古墳

ア イ ウ エ

答え合わせ 答えと考え方

もどる すすむ

小学社会 第3回 ドリル AJV50921G305

問題 5

古墳が多く造られたところは、どのような地域だったと考えられますか。次のア～エの中から1つ選びなさい。

ア 身分の差がなかった地域
イ 強い力を持った豪族がいた地域
ウ 大型動物がたくさんいて狩りに向いていた地域
エ 森林が広がっていて木の葉の採集に向いていた地域

ア イ ウ エ

答え合わせ 答えと考え方

●基礎知識の確認

入試で出題されるさまざまな形式の問題に取り組むドリルで知識の定着をはかります。

練習問題

- 6 古墳の発掘調査によって、次の□□□□のようなことがわかりました。A・Bをもとに、どのような結論が導き出されますか。下の空らんにあてはまる適切な文を書きなさい。
- A 大和地方には、とくに大きな古墳が多い。
B 大和地方の古墳の出土品と、地方の古墳の出土品はよく似ている。
- 大和地方の政権は、強い権力をもっており、（ ）

●思考力を要する問題

練習問題では、知識のアウトプットの練習だけでなく、提示された条件や資料と知識を結び付け、考察する練習を行います。入試問題で頻出の資料問題の練習を積むことで、注目すべきポイントや読み取りのコツを身につけていきます。